

第16回高森自由大学のお知らせ

本年度4講目となる高森自由大学は、1月15日（日）に下市田在住の児童文学作家である北沢彰利さんをお願いして『森の赤鬼 C.W.ニコル』について話していただく予定でしたが、事情により4月に延期します。

そこで、今度の講座は月日を変更せずに、内容を飯田駅前の「ムトスぷらざ」に新しくオープンしました「飯田市平和祈念館」を見学することになりました。現在、世界各地で悲惨な戦争が繰り広げられています。特に、ウクライナの人々の姿に日々心を痛めている方は多いと思います。しかしながら、来年度予算から防衛費の大幅な増額が計画され、敵基地攻撃能力（反撃能力）として活用する兵器が購入されようとしています。戦争の反省として制定された憲法前文や9条の精神はどこへいったのでしょうか。

このような状況だからこそ、「平和祈念館」で日本が体験した戦争を振り返ってみましょう。そして、現代の戦争における二つの恐ろしさである「すべての人が巻き込まれる戦争」「誰もが持ち得る狂気がのさばる戦争」について考えてみませんか？

日時 2023年 1月 15日（日）午後1時30分 ～ 3時頃

場所 飯田駅前「ムトスぷらざ」3階 飯田市平和祈念館

内容 祈念館見学 約1時間—展示作業に関わった松上清志が説明します

懇談 約30分間—祈念館の隣にある中会議室で感想など出し合います

集合方法 直接参加される方は、「ムトスぷらざ」駐車場をご利用ください。地下駐車場が満車の時は、道路反対側コンビニ横にも駐車場があります。乗り合わせでの参加を希望される方は、午後1時に下市田区民会館北側の駐車場にお集まりください。

参加申し込み 運営委員（松上清志、関島伸憲、関島純子、西尾三雄、春日昌夫、北沢幸保、木村典雄、佐々木 昌）にお申し込みください。

（集合方法を含めて 1月12日までに）

その他 新型コロナウイルス対策をお願いします。

発熱その他かぜ症状がある方は参加をご遠慮ください。マスクを着用し、消毒液で手指の消毒をして、参加者名簿への記入もお願いします。

☆会場（会議室）ではウイルスを無害化する医療用オゾン発生装置を作動させます。

○ 年会費 1,000円（今回の講座のみの方は300円） 問合せ先：080.5108.7487



祈念館の展示（戦時中の民家再現）

日本経済と消費税・インボイス制度を考える

講師 税理士法人西尾会計 税理士 黒河内隆史さん

市田柿生産真っ盛りの中 15名の参加者で開かれました。
以下感想文を紹介します。

- ★ 時期を得たタイミングの内容でよかった
- ★ 経済学は難しいということが改めてわかりました。政府は難しくして納税をさせようとしていることがわかりました。
- ★ インボイスとは・・・？全く理解できていませんでしたが、本日のお話をお聞きして少し分かりかけてきました。職場なら事務が増えるだけで、利益がない。益々国民を苦しめ追いやるのか！
- ★ 大変ありがとうございました。

まとめ

現在の消費税には多くの問題があります

- 1、 社会保障の為に導入したとしていますが、法人税の減税等に使われています。
- 2、 低所得者ほど負担が重い悪税 逆累進課税 で庶民には過酷な税金です。
- 3、 税率3%から10%になり、国税に占める消費税の割合が34%になり先進国の中でも突出しています。欧州は、教育費、医療費、老人福祉など、安心な暮らしのために使われています。
- 4、 輸出免税制度は消費税還付を受ける大企業向けの優遇政策です。

インボイス（適格請求書）導入を中止させましょう

- 1、 インボイス登録期間が、2023年3月31日までに終わっている→まだ理解されていない
- 2、 行政は免税事業者（売上1000万円以下の中小企業者・個人事業者等）のインボイス制度にたいする十分な研修・説明がされていない
 - ① 課税事業者 → インボイス発行～膨大な経費・事務負担
 - ② 免税事業者 → インボイス発行出来ない→取引から除外されるか課税事業者になる
 - ③ 小規模個人事業者・請負事業者・フリーランスなど→取引から除外、あるいは収入減
- 3、 制度自体も複雑であり、倒産と廃業する事業者が続出してしまいます。国民と小規模事業者を守るために消費税率を5%に戻して、負担と混乱をもたらすインボイス制度は中止を求めます。

参加者 N さん記